

2024年度 第2四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

前回調査と比較し、受注量については改善がみられ、受注見通し、受注単価、資金繰りについても、若干の改善がみられ、徐々に回復への予兆もみえつつある。ただし、前期のマイナス傾向からの『不変』回答が多数で、全体として依然厳しい状況が継続していることが読み取れる。

<項目別の特徴>

- 受注量：業況判断D Iは▲17.6となり、前期のD I値▲29.5と比べ11.9ポイント増加と、前回調査時から改善した。
- 受注見通し：業況判断D Iは▲4.5となり、前期のD I値▲12.3と比べ7.8ポイント増加と、前回調査時から改善した。
- 受注単価：業況判断D Iは8.2となり、前期のD I値7.9と比べ0.3ポイント上昇するも、前回調査時から「不変」と回答した企業の割合が増加した。
- 資金繰り：業況判断D Iは▲11.7となり、前期のD I値▲13.5と比べ1.8ポイント増加し、前回調査時から「不変」と回答した企業の割合が若干増加した。
- 採算状況：業況判断D Iは▲6.9となり、前期のD I値▲7.2と比べ0.3ポイント増加し、前回調査時から若干改善傾向が見られた。
- 受注余力：業況判断D Iは48.8となり、前期のD I値56.4と比べ7.6ポイント減少となり、若干改善傾向が見られた。
※「受注余力あり」が減少＝プラス傾向

<分析>

調査対象企業300社のうち21社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

- 国内および欧米向けの生産設備は比較的好調であり、中でも医療、鉄道車両、電池に関する分野では堅調を維持している。
- 受注企業の高齢化、事業継続難に伴い、発注企業において取引先の新規開拓をする動きがみられ、新たな受注に繋がっているケースもある。
- 中国経済減速により、ハイテク分野を中心に需要が減少しており、府内でも多数存在する同分野にかかわる企業は、景気動向の悪い状況が継続している。
- 大企業の製造業界全般の動きとして、FA機器や工作機械等の設備投資が抑制されている影響で部品発注の新規発注案件は少なく、低調な状態が続いている。

〔価格転嫁〕

- 一部を除き、全般的に原材料費の高騰分の単価反映が進んでいない。
- 労務費、光熱費高騰分までの対応は困難であるとの声が多数。
- 取引先からのコストダウン要求もあり、着実には価格転嫁できていない状況。

〔自動車関連〕

- 国内自動車販売台数は減少傾向のため新規事業の探索を行っている部品加工企業がみられる。
- プレーキ部品関連などエンジン部品以外は一定量の生産量で増産情報も出ている。

〔半導体関連〕

- 前期に引き続き、装置製造企業、部品加工企業など、受注低調で苦しい業績が続いており、直近の増産情報は無い状況。依然低調ではあるが、一部では今年の年末にかけて増産情報も出ている。

(注) 本報告書で使用するD Iとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2024年7月～2024年9月
(2024年9月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 263社 (回答率 87.7%)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2024年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

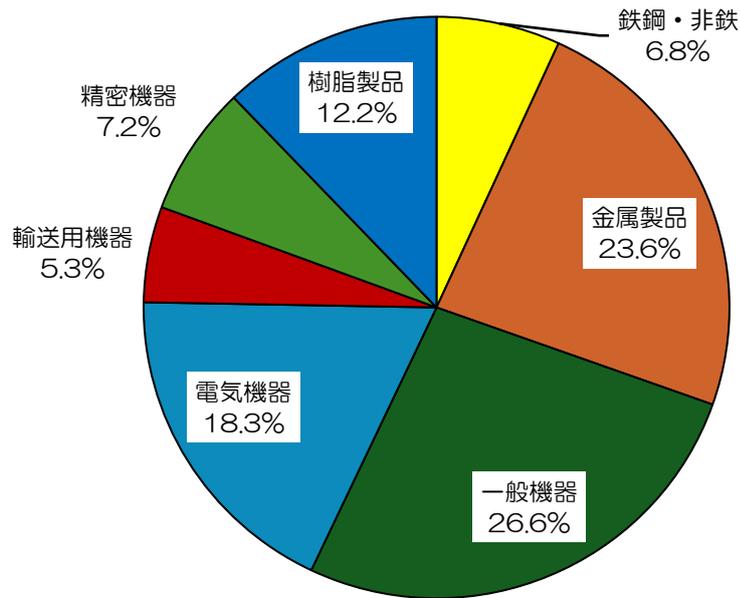
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	263社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	18社	(6.8%)	
金属製品関係	62社	(23.6%)	
一般機器関係	70社	(26.6%)	
電気機器関係	48社	(18.3%)	
輸送用機器関係	14社	(5.3%)	
精密機器関係	19社	(7.2%)	
樹脂製品関係	32社	(12.2%)	
④ 回答率	87.7%		[前回：82.0%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.1%			3 9.4%
~300万円	19 7.2%		6 9.7%	2 2.9%	3 6.3%	2 14.3%	2 10.5%	4 12.5%
301~999万円	13 4.9%		3 4.8%	7 10.0%		1 7.1%		2 6.3%
1000~2000万円	142 54.0%	10 55.6%	36 58.1%	39 55.7%	26 54.2%	5 35.7%	12 63.2%	14 43.8%
2001~5000万円	63 24.0%	6 33.3%	15 24.2%	18 25.7%	11 22.9%	2 14.3%	4 21.1%	7 21.9%
5000万円超	21 8.0%	2 11.1%	1 1.6%	4 5.7%	7 14.6%	4 28.6%	1 5.3%	2 6.3%
合 計	263 100%	18 100%	62 100%	70 100%	48 100%	14 100%	19 100%	32 100%

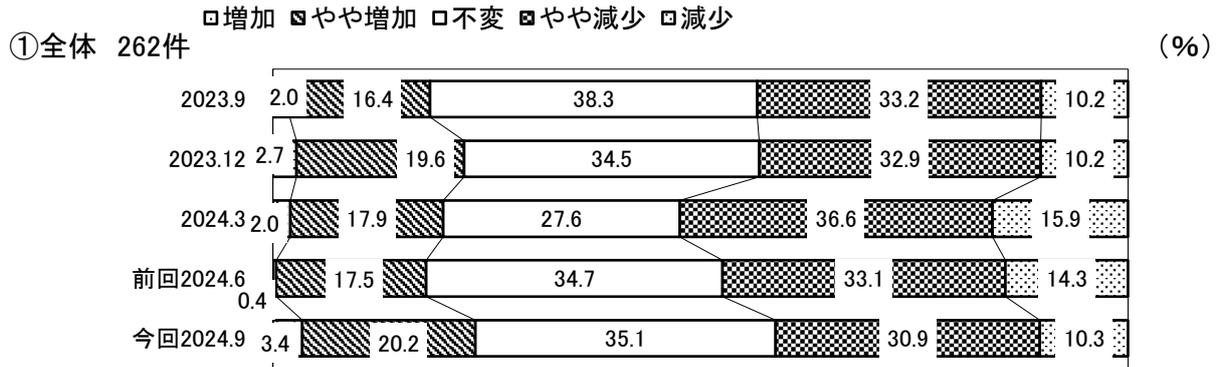
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

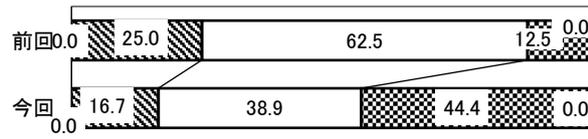
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 7.6%	3 16.7%	3 4.8%	8 11.4%	3 6.3%			3 9.4%
6~10人	31 11.8%	1 5.6%	5 8.1%	8 11.4%	5 10.4%	2 14.3%	5 26.3%	5 15.6%
11~20人	64 24.3%	3 16.7%	14 22.6%	20 28.6%	10 20.8%	2 14.3%	6 31.6%	9 28.1%
21~30人	39 14.8%	3 16.7%	16 25.8%	12 17.1%	3 6.3%	1 7.1%	1 5.3%	3 9.4%
31~50人	45 17.1%	5 27.8%	11 17.7%	11 15.7%	10 20.8%	3 21.4%	3 15.8%	2 6.3%
51人以上	64 24.3%	3 16.7%	13 21.0%	11 15.7%	17 35.4%	6 42.9%	4 21.1%	10 31.3%
合 計	263 100%	18 100%	62 100%	70 100%	48 100%	14 100%	19 100%	32 100%

3. 調査結果

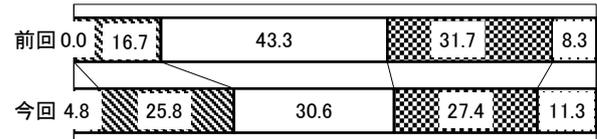
(1) 受注量について



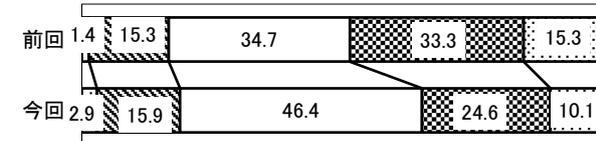
②鉄鋼・非鉄 18件



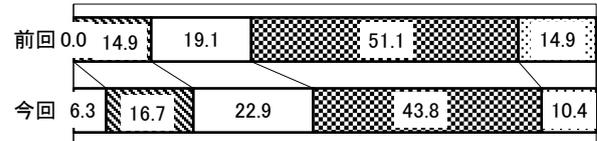
③金属製品 62件



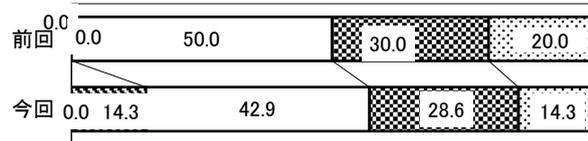
④一般機器 69件



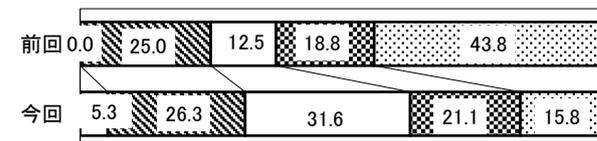
⑤電気機器 48件



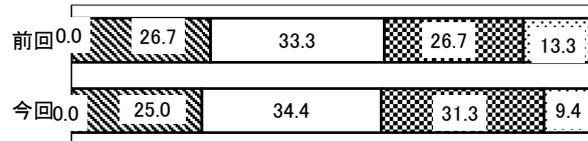
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲17.6となり、前期（4月～6月期）のD I値▲29.5と比べ11.9ポイント増加と、前回調査時から改善した。

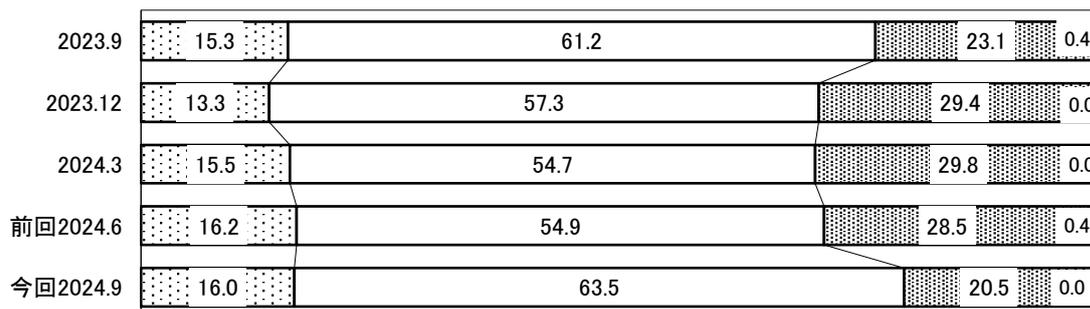
○業種別

・D I値は、精密機器（▲5.3）、金属製品（▲8.1）、樹脂製品（▲15.7）、一般機器（▲15.9）、鉄鋼・非鉄（▲27.7）、輸送用機器（▲28.6ポイント）、電気機器（▲31.2）の7業種全てでマイナスとなった。

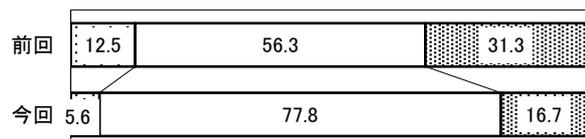
・D I値を前回と比較すると、精密機器（32.3ポイント）、輸送用機器（21.4ポイント）、電気機器（19.9ポイント）、一般機器（16.0ポイント）、金属製品（15.2ポイント）の5業種で上昇。樹脂製品（▲2.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲40.2ポイント）の2業種で低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

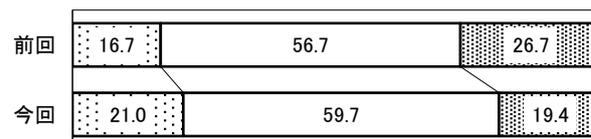
①全体 263件 □増加 □不変 □減少 □不明 (％)



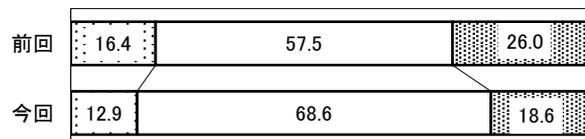
②鉄鋼・非鉄 18件



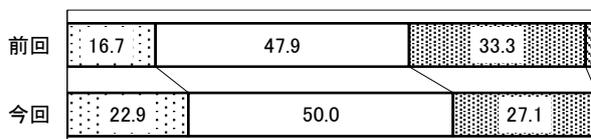
③金属製品 62件



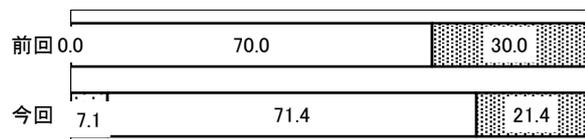
④一般機器 70件



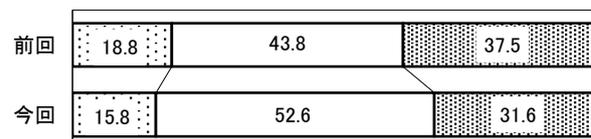
⑤電気機器 48件



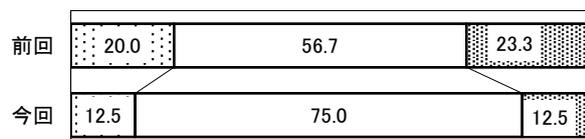
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・次期(10月~12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲4.5となり、前期(7~9月期)調査時のD I値▲12.3と比べ7.8ポイント増加と、前回調査時から改善した。

○業種別

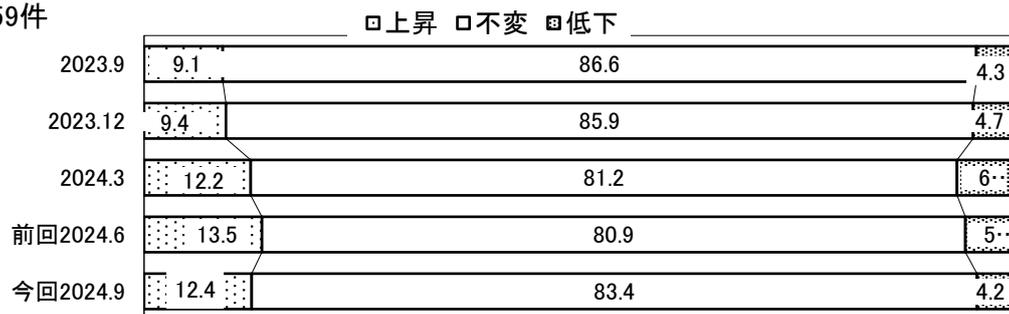
・D I値は、金属製品(1.6)の1業種でプラスとなり、電気機器(▲4.2)、一般機器(▲5.7)、鉄鋼・非鉄(▲11.1)、輸送用機器(▲14.3)、精密機器(▲15.8)の5業種でマイナスとなった。樹脂製品の1業種のみ±0となった。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器(15.7ポイント)、電気機器(12.4ポイント)、金属製品(11.6ポイント)、鉄鋼・非鉄(7.7ポイント)、一般機器(3.9ポイント)、樹脂製品(3.3ポイント)、精密機器(2.9ポイント)の7業種全てで上昇となった。

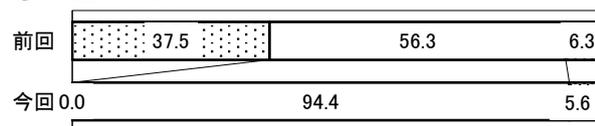
(3) 受注単価について

(%)

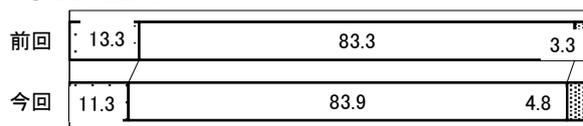
①全体 259件



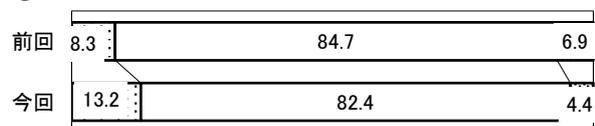
②鉄鋼・非鉄 18件



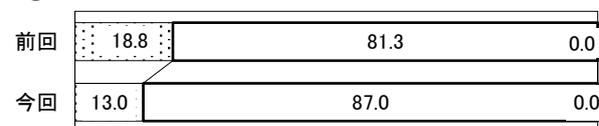
③金属製品 62件



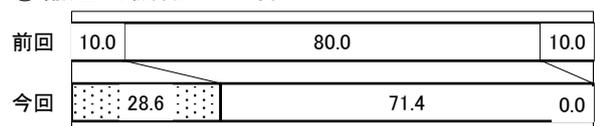
④一般機器 68件



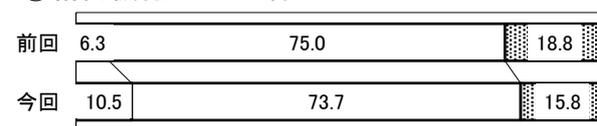
⑤電気機器 46件



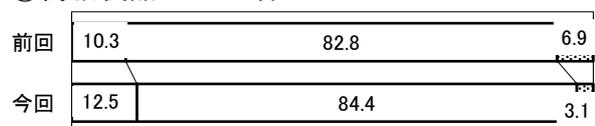
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 32件



○全体

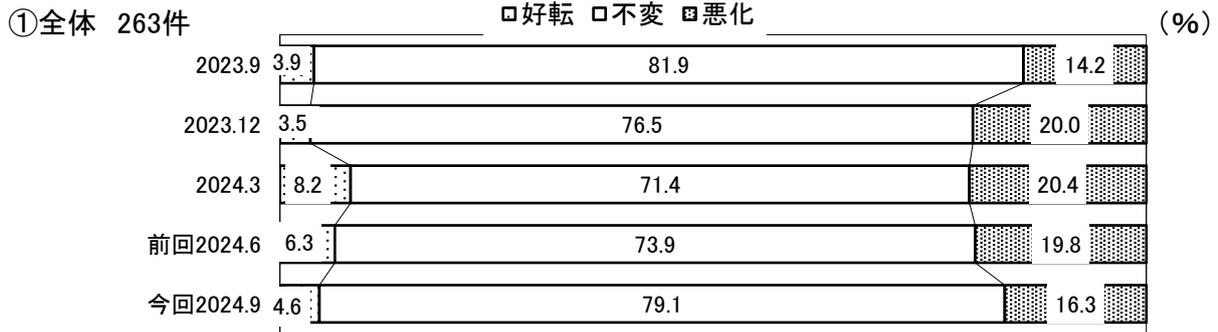
- 7月～9月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）8.2となり、前期（4月～6月期）のD I値7.9と比べて0.3ポイント増加し、前回調査時から「不変」と回答した企業の割合が増加した。

○業種別

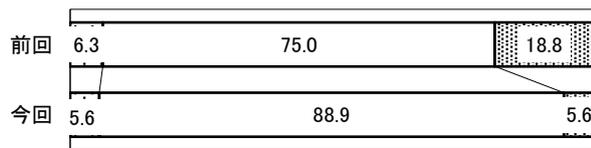
- D I値は、輸送用機器（28.6）、電気機器（13.0）、樹脂製品（9.4）、一般機器（8.8）、金属製品（6.5）の5業種でプラスとなり、精密機器（▲5.3）、鉄鋼・非鉄（▲5.6）の2業種でマイナスとなった。

- D I値を前回と比較すると、輸送用機器（28.6ポイント）、一般機器（7.4ポイント）、精密機器（7.2ポイント）、樹脂製品（6.0ポイント）の4業種で上昇。金属製品（▲3.5ポイント）、電気機器（▲5.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲36.8ポイント）の3業種で低下となった。

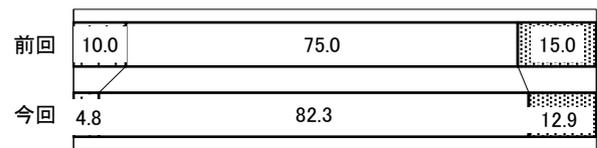
(4) 資金繰りについて



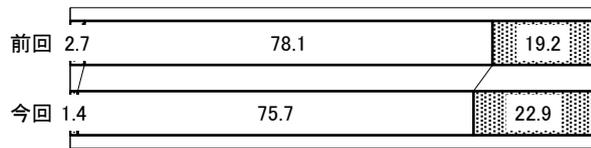
②鉄鋼・非鉄 18件



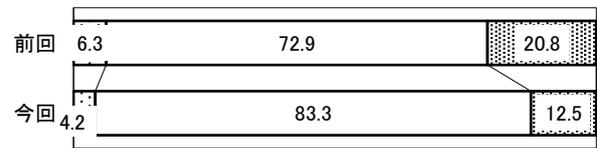
③金属製品 62件



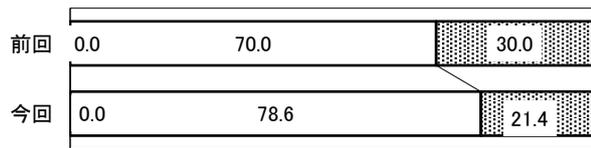
④一般機器 70件



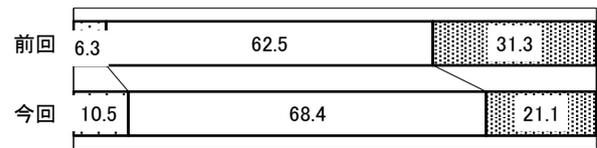
⑤電気機器 48件



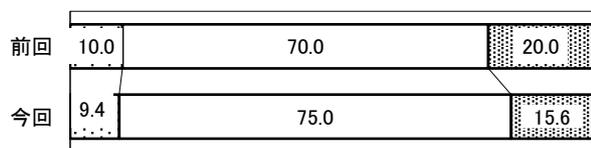
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・7月～9月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲11.7となり、前期（4月～6月期）のD I値▲13.5と比べて1.8ポイント増加し、前回調査時から「不変」と回答した企業の割合が若干増加した。

○業種別

・D I値は、樹脂製品（▲6.2）、金属製品（▲8.1）、電気機器（▲8.3）、精密機器（▲10.6）、輸送用機器（▲21.4）、一般機器（▲21.5）の6業種でマイナスとなり、鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となった。

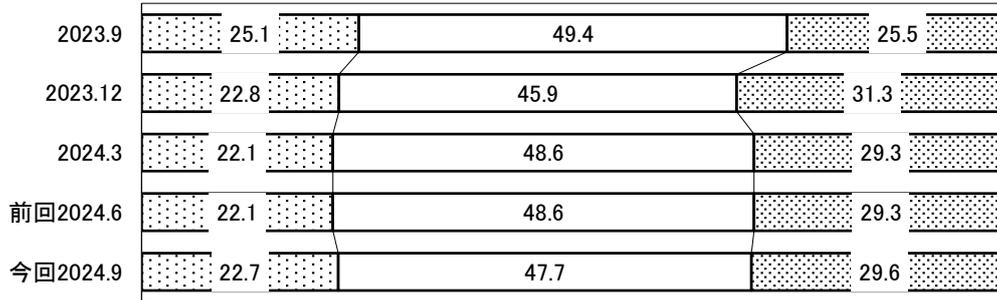
・D I値を前回と比較すると、精密機器（14.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（12.5ポイント）、輸送用機器（8.6ポイント）、電気機器（6.2ポイント）、樹脂製品（3.8ポイント）の5業種でプラスとなり、金属製品（▲3.1ポイント）、一般機器（▲5.0ポイント）の2業種でマイナスとなった。

(5) 採算状況について

①全体 260件

□黒字 □収支トントン □赤字

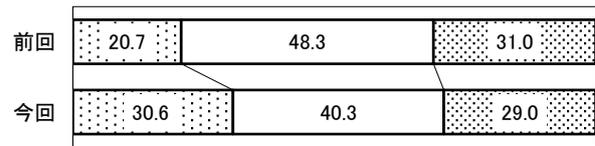
(%)



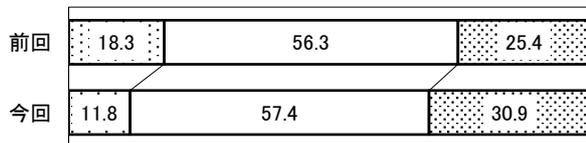
②鉄鋼・非鉄 18件



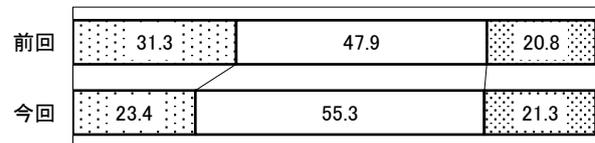
③金属製品 62件



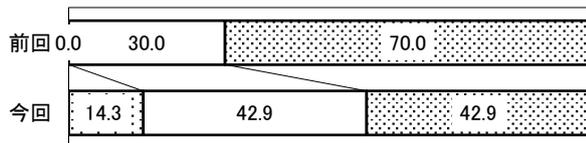
④一般機器 68件



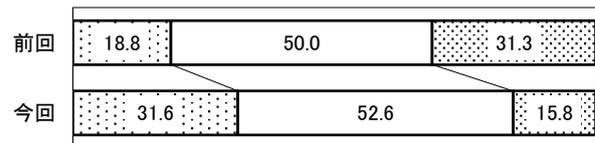
⑤電気機器 47件



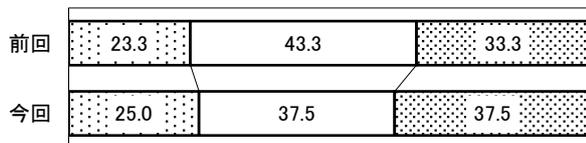
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・7月～9月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.9となり、前期（4月～6月期）のD I値 ▲7.2と比べ0.3ポイント増加、前回調査時から若干改善傾向が見られた。

○業種別

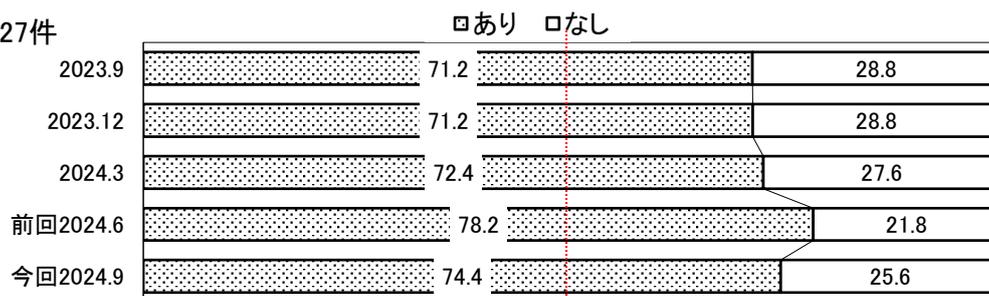
・D I値は、精密機器（15.8）、電気機器（2.1）、金属製品（1.6）の3業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄（▲11.1）、樹脂製品（▲12.5）、一般機器（▲19.1）、輸送用機器（▲28.6）の4業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（41.4ポイント）、精密機器（28.3ポイント）、金属製品（11.9ポイント）の3業種で上昇。樹脂製品（▲2.5ポイント）、電気機器（▲8.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲11.1ポイント）、一般機器（▲12.0ポイント）の4業種で低下となった。

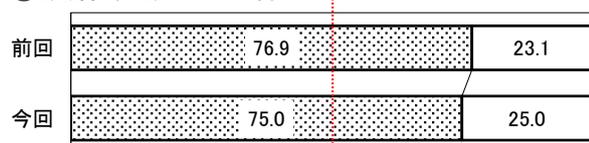
(6) 受注余力について

(%)

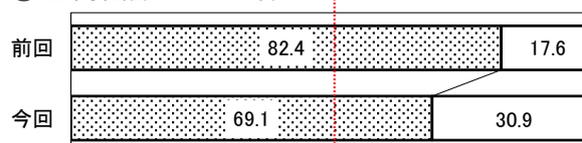
①全体 227件



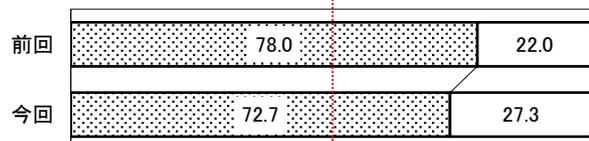
②鉄鋼・非鉄 16件



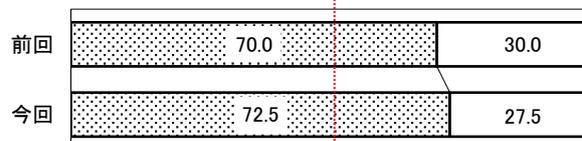
③金属製品 55件



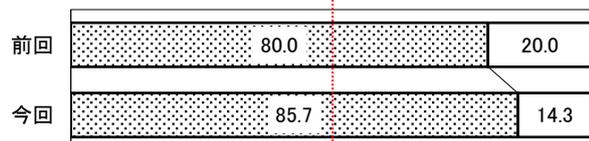
④一般機器 55件



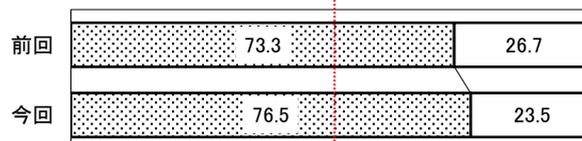
⑤電気機器 40件



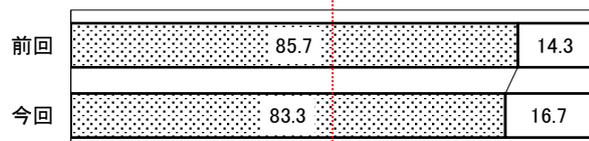
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 30件



○全体

- ・7月～9月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた増加）は48.8となり、前期（4月～6月期）のD I値56.4から7.6ポイント減少となった。
- ・7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が74.4%と、前期の78.2%より3.8ポイント減少となった。

（受注余力あり」の割合が減少した＝プラス傾向）

○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（71.4）、樹脂製品（66.6）、精密機器（53.0）、鉄鋼・非鉄（50.0）、一般機器（45.4）、電気機器（45.0）、金属製品（38.2）の7業種全てでプラスとなった。

- ・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（11.4ポイント）、精密機器（6.4ポイント）、電気機器（5.0ポイント）の3業種で前回比プラス、鉄鋼・非鉄（▲3.8ポイント）、樹脂製品（▲4.8ポイント）、一般機器（▲10.6ポイント）、金属製品（▲26.6ポイント）の4業種で前回比マイナスとなり「受注余力なし」と回答した企業の割合が増加している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E - mail : market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp